

(対象期間：2022/9/12～2022/9/16)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年9月16日)

【株式市場】

12日は鉱業株などが堅調となった一方で通信株が下落し横ばいとなりました。13日は大手銀行株などに外国人投資家の資金流入があり上昇し、株式市場は市場最高値（終値ベース）を更新しました。14日は米国の消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回り、積極的な利上げ観測が懸念され米国株を中心にリスク回避姿勢が強まったことを受けて下落しました。15日は不動産株などが堅調となり上昇しました。16日は米景気後退懸念からアジア株全体が弱含みとなりインドネシアの株式市場も下落しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/9/9	2022/9/16	変化率
7,242.66	7,168.87	-1.02%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年9月16日)

【債券市場】

12日は外国人投資家からの資金流入を受けて利回りは低下（価格は上昇）しました。13日の国債入札では応札額が前回を上回り、好調な入札を受けて利回りは低下しました。14日は米国のCPIが市場予想を上回り、米連邦準備制度理事会（FRB）の引き締め姿勢の強まりを背景に米国債利回りが大幅上昇となったことを受けてインドネシアの国債利回りは長期債を中心に上昇しました。週末にかけて米国金利の上昇に合わせて中長期の国債利回りは上昇した一方、短期の国債の利回りは低下しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/9/9	2022/9/16	変化幅
7.167	7.215	+0.048

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年9月16日)

【為替市場】

週初のルピアは小動きとなりました。米国のCPIが市場予想を上回り、FRBの積極的な利上げ観測が意識され米国の短期金利が大幅上昇となりました。これを受けて米ドルが全面高となり、ルピアも弱含みとなりました。15日に発表された8月の貿易収支は、好調な石炭輸出を背景に輸出額が前年同月比で過去最高額となり、市場予想を大幅に上回りました。この発表を受けて株式市場などは好感し上昇しましたが、為替市場での反応は限定的でした。ルピアは前週末比で対米ドルでは下落、対円では上昇しました。

2022/9/9	2022/9/16	変化率
0.9554	0.9577	+0.24%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。